



巻頭言

病院長就任のご挨拶

病院長

よこやま のぼる
横山 登

2023年4月より昭和大学江東豊洲病院の病院長に就任いたしました横山登です。1999年4月より現病院の前身である昭和大学附属豊洲病院外科に着任し、豊洲での勤務は23年になります。新井一成先生、笠間毅先生に続く3代目の病院長となることは、身の引き締まる思いです。

昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に診療を開始し、今年10年目を迎えます。これまでの江東豊洲病院は、地域にも認知され順調に進んできましたが、本当に大切なのはこれからの10年間だと思っています。これからの10年間で「進化する病院」にしたいと思っています。そのために、3つの方策を考えています。

第1番目は、「診療・研究の推進」です。江東区の大学附属病院として、高度先進医療を取り入れ、地域の皆様に貢献していきたいと考えています。大学病院で新しい医療を行うことは、社会的使命でもあります。しかし、安心して医療を受けられる環境は最も大切なことです。私は医療安全管理者を2年間経験しているため、その経験を活かして皆様に質の高い安全な医療を提供していくことに努めていきたいと思っています。

第2番目は、「効率的な医療の提供」を心掛けたいと思います。当院は開院以来日曜、祝日も診療をして、地域医療に貢献してきました。2024年には、「医師の働き方改革」が始まります。そのため長時間労働を是正するためには、患者さんやご家族にもご協力いただくことがあるかもしれません。患者さんにも職員にもやさしい病院でありたいと思っていますので、ご協力よろしく願いいたします。

第3番目は、「地域医療連携の強化」です。当院は、救急車や地域医療機関からの紹介患者さんを中心に診療し、病状が安定した患者さんは地域医療機関にて経過観察していただく、2人主治医制を基本にしています。地域の医療機関、介護施設等との機能分化・連携を密にした地域完結型医療を基本とした運営を心がけたいと思っています。

この3つの基本方針を「3本の矢」としていきたいと考えています。「3本の矢」とは、戦国武将の毛利元就が、隆元、元春（後の吉川元春）、隆景（後の小早川隆景）という3人の子息に対して授けた教えを指していて、一本の矢では容易に折れるが、三本まとめては折れにくいことから、一族の結束の大切さを説いたものとされています。この3つの方策が充実して、病院は進化できると思っています。



新型コロナウイルスの感染拡大は終息に向かっている状況ですが、これからも昭和大学江東豊洲病院は、安全・安心な医療を目指し、皆様に頼られる病院として努力してまいりますので、引き続き皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



第108号のトピックス

- 巻頭言（病院長就任のご挨拶）
- 臨床研究支援室紹介
- 江東区立豊洲図書館 推薦図書コーナーの設置について
- 江東豊洲病院開院10周年に向けて Part2
- 病院内マスク着用をお願い
- 編集後記

臨床研究支援室紹介

臨床研究支援室長／嶋田 顕^{しまだ けん}
臨床研究コーディネーター／日比野 文代^{ひびの ぶんよ}

皆さん臨床研究支援室をご存じでしたか？

臨床研究を行っている教育職員の先生方には、これまで研究の申請窓口としてご周知いただいていたかと思えます。病院職員の方々は、どこにあるの？誰がいる？どんな印象をお持ちでしょうか。

2014年江東豊洲病院の開設時、臨床研究支援室は、昭和大学の「教育」「研究」「診療」の3分野を通じて広く社会に貢献することがMissionであることをうけ、研究（Research）の分野において優れた医薬品・医療を国民に提供するために、臨床研究の実施・医薬品開発（治験）に積極的に取り組むことを推進するために病院長により設置されました。

現在、江東豊洲病院で行われている臨床研究の件数は、臨床研究実施計画書ベースで約106件です。（治験6件、臨床研究80件以上、特定臨床研究20件）

臨床研究（治験）は、患者さんのご協力なしには成立しません。患者さんは、臨床研究のリスクを引き受けております。私たち医療者は、臨床研究（治験）に参加くださっている患者さんの意思と健康・権利を擁護し、患者さんの安全に十分配慮した高い倫理に基づいた臨床研究（治験）を適切に実施することを求められております。

事務局は、各種関係法規に基づく申請から、倫理審査のための委員会運営、契約業務と利益相反等の業務を統括研究推進センター（通称；SURAC^{スーラック}）とも連携し行っております。

専任CRC（臨床研究コーディネーター）は、臨床研究（治験）の準備段階において支援室のメンバーと協働し、診療手順に則り、かつ臨床研究（治験）の計画書を遵守した実施のためのルール作りを行っています。患者さんには、医師から行われる説明の補助、患者さんの安全性の確保のための身体面・精神面のケア、相談窓口やスケジュール管理を行っております。臨床研究支援室は、昭和大学の附属8病院の臨床研究センター・支援室とも連携し研究者にとっても、患者さんにとっても臨床研究（治験）に安心して参画できる組織づくり・環境づくりに努力しております。

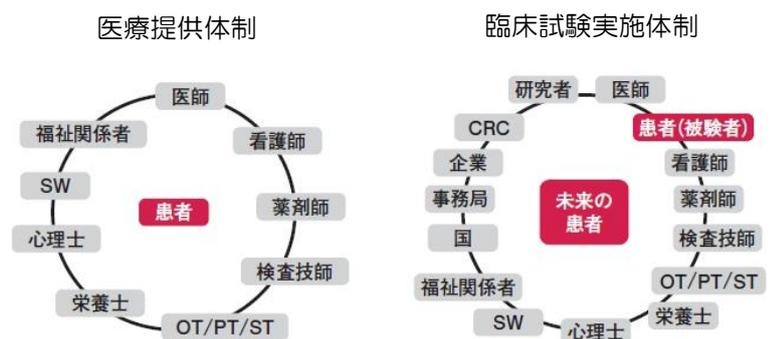
最後に、臨床研究（治験）は、現在の患者さんのご協力のもと、未来の患者さんの医療に貢献する取り組みです。

臨床研究支援室メンバーは以下の職種で構成しています！

- センター長：嶋田 顕（腫瘍内科教授）
- 副センター長：丹野 郁（循環器内科教授）
- 看護師：1名
- 薬剤師：1名
- 臨床検査技師：1名
- 診療放射線技師：1名
- 医事課事務員：2名
- 臨床研究コーディネーター：1名
- 事務員：1名

（2023.4.1 現在）

医療提供体制と臨床研究（治験）の実施体制のイメージ



出典：リサーチナースの魅力（藤原紀子）医学会新聞/医学書院 2019

江東区立豊洲図書館 推薦図書コーナーの設置について

江東区立豊洲図書館と連携し、当院医師・看護師等からの推薦図書を配架する特設コーナーを館内に設置していただいています。現在は、リウマチ・膠原病内科、腎臓内科の推薦図書を紹介していただいています。

推薦図書・推薦コメント（一部をご紹介します）

リウマチ・膠原病内科推薦図書

『ウルトラ図解関節リウマチ』

宮坂信之／監修 法研／出版

関節リウマチについての総まとめがされています。関節リウマチと診断されたら一読されてみてください。すべての項目が皆様に当てはまるわけではないので不安なことがあれば主治医へ相談してみてくださいね。



リウマチ・膠原病内科
徳永講師

『膠原病がよくわかる 最新治療と正しい知識』

橋本博史／監修 日東書院本社／出版

図解になっているので最初の概略を知れるのではないかと思います。

腎臓内科推薦図書

『やさしい腎代替療法』

中元秀友・秋野公造／著
西村書店／出版

患者さんに最善の「腎代替療法」の選択を行っていただくために、腎臓のこと、腎臓の病気のこと、そして腎代替療法のことについてわかりやすく解説しています。



腎臓内科スタッフ

『慢性腎臓病の楽しい食事』

吉村吾志夫／著 桜の花出版／出版

慢性腎臓病とは何か、腎臓とはどのような働きをしているのか、腎臓を保護する食事とは何かなどが非常に分かり易く書かれており、慢性腎臓病と診断された方全員にご一読頂きたい一冊。



江東区立豊洲図書館
〒135-0061
東京都江東区豊洲 2-2-18
江東区豊洲シビックセンター
9階・10階・11階（一部）

昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に開院し、今年10年目を迎えました。病院だよりでは数回にわたって病院の沿革を皆さんにご紹介します。

2018年4月3日

eICU（遠隔医療 集中治療室システム）の運用開始

eICUとは遠隔医療の一つで、集中治療専門医が不足している現状を踏まえ、複数のICU（集中治療室）をネットワークで接続し、その情報を現場から離れた支援センターにいる集中治療専門医や重症ケアを専門とする看護師が閲覧し、現場のスタッフや患者さんと双方向通信でつなぐことで支援するものです。

昭和大学では tele-ICU をアジアで初めて導入しました。

遠隔医療とは・・・

医師が患者さんと直接
対面せずに、インターネットなどの
通信技術を用いて診療・医療にかかわ
る行為を行うことです。

2018年出来事（一部）

豊洲市場へ移転

平昌オリンピック開幕

新語・流行語年間大賞は「そだねー」



Pick up

病院内マスク着用をお願い

マスクの着用につきまして、政府の方針として令和5年3月13日から個人の判断に委ねることになっておりますが、院内滞在中はマスクの着用をお願いいたします。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力いただけますようお願い申し上げます。



編

集

後

記

2023年4月で、当院は新病院を開院し10年目の節目の年となります。当院は、街の発展・人口増加に負けないよう、161床だった旧病院から400床に増床し、地域の先生方と連携して今日まで切磋琢磨してきました。江東区を中心とした住民の方々に、少しは認知されてきましたでしょうか。タクシーの運転手さんは、病院名で行き先を理解してくれるようになってきました（笑）。今後も患者さんや地域の声に耳を真摯に傾け、頼りに思ってもらえるような病院づくりをスタッフ一同続けたいと思います。

と、この原稿を書きながらニュースを観ると、WBC 日本代表優勝しましたね、おめでとうございます！！個人的には村上選手の打席が一番興奮しました。準決勝の逆転打は、栗山監督が『信じ』続けて得られた、感動の瞬間でした。栗山監督の座右の銘は『夢は正夢』です。私には少し沁みる言葉ですが、素敵なので子供には教えておこうと思います。本年度もよろしく願いいたします。

消化器センター のむら 野村 のりひろ 憲弘



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

